



# この世に要らな い47のもの

---

---

桜井洋介

---

## 【この世に要らないもの1・・・体育会系】

---

体育会系のノリは性に合わない。

そこに感動的な素晴らしさはあるのかもしれないけど、自由や創造性、さらには合理性は感じないし、理不尽なことが多いから好きではない。軍隊的な考えだしね。

草食系男子がダメみたいな風潮だけど、最近の若者は気付いてるだけだと思う。

最低限の礼儀を兼ね備えて、互いを尊重し合った方がよくね？

## 【この世に要らないもの2・・・世間体】

---

みんな世間体を気にしすぎて、自由になれない。  
世間体のせいで進学、就職、結婚・離婚など自分の意思を押し殺して苦しんでいる。  
安心・安定はあるかもしれないけど、そこに本当の幸せはない。  
世間体を気にしない、そんな世の中になればいい。

## 【この世に要らないもの3・・・「迷惑を掛けてはいけない」という教育】

---

誰もが知ってること、人は迷惑を掛けずには生きられない。

つまり人は生けてるだけで迷惑なのです。

なのに日本の教育は「人に迷惑を掛けてはいけない」と矛盾した教えを説く。

一方、インドでは、「人に迷惑かけて生きているのだから、人のことも許してあげなさい」と教えるそう。

日本だって江戸時代はお互いさまの精神があった。

僕は後者の方が、いな！

確かに人を許すのは大変な行為。でも、びくびく生きているより、堂々と生きて、失敗しても人が許してくれれば、自分も絶対人に優しくなれるから。

## 【この世に要らないもの4・・・テレビ】

---

今年の元旦にテレビを手放して、ネットで能動的に情報を得ることで、何不自由のない現在快適な生活を送っている。

テレビに依存してた時の僕はヤバかった！朝と帰りは無意識でテレビのスイッチを付けていたし、休日は撮りまとめた番組を一日寝っ転がって観たりしてた。サッカー日本代表が試合やれば、必ず観てたしね、無意識的に。

さらにヤバいのはCM！

幸せな映像流して、現状の自分と較べさせて購入を煽ったり、無駄に恐怖を煽ってニーズを意図的に創作したり、無意識への洗脳がすごい！

詳しくは右参照→<http://million-train.com/archives/2422>

確かにテレビは寂しさを埋めてくれるし、たくさんいい番組もある。情報も大切だ。でも、マスコミという映像のプロが人々の無意識に相当仕掛けてることは、忘れてはいけない。

## 【この世に要らないもの5・・・無駄な飲み会】

---

無駄な飲み会に行かないようにしている。

でも、今日は仕事で助けてもらった先輩から飲み会に誘われ、多少躊躇したけど、恩もあったので、行くことにした。

多少仲良くなればと期待して、行ったけどやっぱダメだった笑。

飲み会の中で最も偉い奴がつまらない話をひたすら話して、周りが賛同する図がエンドレスでループする。端から見ると楽しそうだけど、よく観察すると作り笑顔の後の微表情が死んでるんだよな。ただただ時間がゆっくり進むだけだった。

たぶんみんなこれが当たり前だと思ってる（思おうとしている）。ただ単に僕が、コミュニケーションが下手なのかもしれないし、彼らは満たされてるかもしれない。でも、自分に好きな人ややりたいことがあれば絶対にその場を無駄に感じるはずだし、無駄な飲み会の時間とお金は本に回した方が数倍価値があると思う。

だからじゃないけど、多少嫌われても自分の時間を大切に、自分の成長を大事にしたいと再認識した一日だった。

## 【この世に要らないもの6・・・「仕事のための仕事」】

---

仕事には、「顧客のための仕事」と「仕事のための仕事」があると思う。

後者は、ぶっちゃけ必要のない仕事である。身近な例を上げると、形式的な会議、必要以上の確認作業、身にならない研修、など。

ITの発達など色々な要素があるかもしれないが、特に大きな組織を中心に組織存続のため仕事をムダな仕事を創出していると思う。

どんなに形式は素晴らしいものでも、そんな仕事に感動や成長はない。

## 【この世に要らないもの7・・・「会社のために働くという概念」】

---

今更、そんなことは知ってると思われるかもしれない。でも、実際そうしちゃってる人が何だかんだとたくさんいるが事実だと思う。

最近ベンチャー系企業は実力主義かもしれないが、まだ古臭い年功序列など残ってる会社は当てはまるだろう。一生懸命やればやるほど、面倒くさい部署や仕事を与えられる。また、ダメであればあるほど、楽な仕事を与えられる。でも、両者とも給料もほとんど変わらず、前者はわずかな「昇級」というエサをぶら下げられ走り続け、気付けば心は蝕まれていくこともあるだろう。

「一生懸命やっていれば報われる」そういうケースはあるにはあるかもしれない。でも、ほとんどの会社の人事は、私たちが賞賛することよりも「組織を如何に円滑に回すか」に焦点を充てている。だから頑張れば頑張るほど、耐性がある奴だと見なされ、負のスパイラルへ導かれる。

私たちは、このことにいち早く気づき、自由にならなくてはならない。

## 【この世に要らないもの8・・・愛のない結婚】

---

恥ずかしながら、私はつい最近まで結婚とは愛があるからするものだと思ってた。

しかし、私の周りには打算的・消去的に結婚をする人がちらほらいる。「一流企業だから」「他に引き取り手がいない」「安定してるから」「責任取らないと」「イケメン・美人だから」「親のためにも」「今さら婚活が面倒」「子どもが欲しい」「友達がみんな結婚したから」など理由はそれぞれ。

人間だから打算的・消去的になるのは多少仕方ないと思う。しかし、一定の条件で結婚しても、その理由がなくなってしまうたら破局にならざるを得ないだろう。実際、離婚に踏み切ったカップル、後悔に苦しんでいる既婚者を何人も観ている。

例えば、「リストラになったら」「醜くなったら」「子どもが出来なかったら」などの事象が発生した場合とかかな。

シビアに離婚もいいかもしれないが、それも労力がいるし悲しい。

もし、結婚するのであれば、万が一打算的・消去的理由がなくなったとしても一緒にいたいかな、もう一度、自分の心に聞いてみてもいいんじゃないかと思う。

例えば、「美人な彼女が太っても一緒にいたいかな?」、「彼が会社を辞めても好きかな?」など。

実際できるかは別として、その位の覚悟という愛があるのか確認することが必要なのではと常日頃思う。

提案としては、ぜひ結婚式の牧師には、「イケメンで大企業に務めている彼が、鬱病でニートになってハゲて、種無しでも応援できますか?」などと愛の誓いを交わす前に具体的に問いかけて頂きたい。笑

## 【この世に要らないもの9・・・「考えすぎマインド」】

---

考えることは大事だけど、考えすぎはイカンのです。考えれば考えるほど、脳は不安を煽り行動しない理由を探してしまうから。

ずっと悩んでる天才よりも、疑いもせず、直感的に行動できるバカぐらいの方がいいかもしれない。失敗しても、経験という財産が次の行動に繋がるし、また次の一手に行動を移せるから。それよりもいつまでも難しい顔をして悩んでるだけの時間の使い方はもったいない。

早く恐怖を払拭して、飛び立とう！

## 【この世に要らないもの10…ポイントカード】

---

コンビニやカフェに行ったりすると必ずレジで聞かれるのがTポイントカードの有無。僕はあれが嫌で仕方ない。

カード自体は持ってるんだけど、電子マネー決済時などに僅かなポイント付与のために提示するのが面倒なのです。混雑の原因にもなるしね。

Tポイントカードに限らず、他店舗のポイントカード、クーポンがあなたの財布を圧迫してないだろうか。

「お得」と感じ嬉しい人も多くいるんだと思うけど、それは完全に「仕掛けられる側」の発想。

私もちょっと前までは、ポイントやクーポンに縛られていて、無意識に行く店が固定化されていた。これはまずいと思って最近では、ポイントカード等を持たずに買いたい時に買いたい店で買うようにしている。

世の中には、たくさんの仕掛けがあると思うが、せめて僅かなポイントには（笑）、打ち勝つ意思は持っていたい。

## 【この世に要らないもの11…「アリとキリギリス」】

---

ここでいう「アリとキリギリス」は生物ではなくて、童話の話^^  
子どものための童話はヤバいと思う。小さい頃から分かりやすい形で子供を洗脳するから。中でもヤバいのが、「アリとキリギリス」！

あらすじをおさらい (wikipedia参照)

夏の間、アリたちは冬の間食料をためるために働き続け、キリギリスは歌を歌って遊び、働かない。やがて冬が来て、キリギリスは食べ物を探すが見つからず、アリたちに頼んで、食べ物を分けてもらおうとするが、「夏には歌っていたんだから、冬には踊ったらどうだ?」と断られ、キリギリスは餓死する。

なお、それでは残酷だということで、アリが食べ物を恵み、「私は、夏にせっせと働いていた時、あなたに笑われたアリです。あなたは遊び呆けて何のそなえもしなかったから、こうなったのですよ」とキリギリスに告げ、それを機にキリギリスは心を入れ替えて働くようになるという話などに改変される場合もある。

これこそ「好きなことをしたら死ぬ」という恐怖の根源ではないか～！笑

私たちは「好きなこと」をしたいのに恐くて動けないのは、小さい頃から植え付けられた童話の影響も多かれ少なかれあるんじゃないだろうか。もちろん真面目に働くことは大事だけど、何もこういうストーリーでなくてもいいと思うのです。

別にキリギリスがまじめに音楽に向き合って成功して、アリ達に元気や癒しを与えて、共存関係になるハッピーエンドでもいいと思いませんか？

## 【この世に要らないもの12・・・「サービス精神のない教師」】

---

サービス精神のない教師は最悪だ。

- ①つまらない授業のせいで、子どもは勉強を嫌になる。
- ②子どもも学校がしっかりとした授業をしていれば塾はいらない。
- ③あたかも自分が神のように思ってる教師が多すぎる。

私も学校の先生とのいい思い出はないなあ。思い出すのは、質の低い授業、理不尽な説教・暴力、見て見ぬ振りなど酷いものばかり。。そんな変な教師のせいで、自信をなくす子どもが何人いるか！と思うと憤りを感じる。

先生というと「偉人」と子どもの頃は思っていたけれど、人としてどうなの？と思う知り合いが先生をやっていて、そいつに人様の子どもが教えてもらってるのかと思うとぞっとしたりもする^^；

バウチャー制度とか最近はあるようだけど・・・

子どもや親に媚びるとは言わないが、せめてサービス精神があればもっと教育はよくなると思う。子どもにとって、人生の性格を決める大事な時期でもあるのだから、せめて自信だけでも失わせない教育をして欲しいと思う。

## 【この世に要らないもの13・・・「職場の懇親会」】

---

お互いを知らない状況や仲がよい職場ならやってもいいと思うけど、形式的に親睦会が決まってやっている職場はどうかと思う。

仕事上では、話さなかったり、ぎすぎすした関係の人達が、親睦会の場では無理に盛り上がったりする。そして、翌日職場に行くと元に戻る。笑

これって意味あるのか？って思う。場を形式的に提供されないと、盛り上がれね一のかって！無理して仲良くなることもないし、それよりも仕事の一瞬一瞬で相手を気遣う方が本質的じゃないか。そうすれば、「親睦会」なんて名の飲み会もなく、勝手に飲みに行くでしょう。

## 【この世に要らないもの14・・・「お通し」】

---

店に入って酒を注文すると、他に何も頼んでいなくても小皿や小鉢に入った一品料理が出てきて代金を取られるケースが多い。これは「お通し」もしくは「突き出し」と呼ばれるもので、最初の注文が入ってから客に出すまでの時間をつなぐためとされるものである。この他「口取」とする店もある。予め作っておいてすぐに出せるもの、あるいは前日の残り物などを上手く処理して出す。枝豆や、前日は刺身で出していた魚を、煮付けにして出すなどはその例である。関東ではお通し、関西では突き出しという所が多いようだが、両方で全く正反対の言葉を同義語として使っているところが興味深い。店側にとって、お通しは「客単価を確実に上げられる上に、質をあまり問われないので利益率が高くありがたい商品」として重宝されている側面もある。

(wikipedia参照)

たかだか「お通し」だが、上記の通り、我々は店側に仕掛けられていることを自覚しなければならぬ。それをきっちり料金上乘せされてるのも気付かず「サービスが良い」なんて言ってちゃだめだ。

私は、居酒屋に行く時、ケチだと思われても思い出せば「お通しカット」をお願いする。快くOKしてくれるところもあれば、「強制」を押し付けてくる店もある。その場合は、文句は言わずおいしくお通しを頂く。

言いたいのは、「言われるがまま」「やられるがまま」でいるんじゃないということ。大抵の人は、店側の言いなりになってしまっている。「おめたくない」とか「小額のことにもみっともない」という理由で自分の意思を押し殺してしまう。たしかに楽しい食の場でもめるのはどうかと思うけど、自分の意志を伝える、交渉することが悪いことだろうか？私は決して思わない。「お通し」の他にもレストランのテーブル案内時に自分の希望の席を伝えるのだって、構わないと思う。実際、私も飲食のアルバイトをした経験があるけれど、そのような要望でイラっとしたことは一度もない。

店に入って「ん？」と思ったことは店員さんに問いかけよう！

## 【この世に要らないもの15・・・「オープン価格」】

---

オープン価格（オープンかく）・オープンプライス（open price）とは、販売する商品に対してメーカー側が希望小売価格を具体的に定めていないものである。

家電製品、カメラなどの耐久消費財に多く導入されており、小売店の店頭では、実際販売価格（売価）だけが表示され、「ズバリ〇円」という形で表示されていることが多い。

### ◆背景

1980年代中頃からの大型量販チェーン店の台頭により、家電製品やカメラなどで希望小売価格に対して「〇%引き」「三割四割は当たり前」といった売価の表現が常態化したため、公正取引委員会によって、「15%以上の値引きが市場の2/3以上で、20%以上の値引きが市場の1/2以上で行われている場合は二重価格」という基準が設けられた（家電製品の二重価格問題）。

この基準に抵触しないよう、1990年頃から、電機メーカーが値崩れの激しい製品（主に生産を終了し、流通在庫のみが残る商品）に適用する事が多くなった。

しかし、依然として希望小売価格の設定された商品については、「〇%引き」を強調した販売合戦が後を絶たず、2000年頃からは、ほとんどの家電製品、特に携帯電話について希望小売価格の設定を止めて、オープン価格に移行している。

wikipedia参照

背景も色々あったり、メーカー・小売店・消費者それぞれにメリットはなくはないんだけど、購入時に「価格」は大事な要素ではないか。今の時代インターネットで調べられるからと言って、それを「オープン価格」という形で濁すのはどうなのかと思う。せめて、「1万～2万あたりで市場で流れると思いますッス」ぐらい書いてもらいたいものだ。笑

## 【この世に要らないもの16・・・「親友」】

---

親友（しんゆう）とは、とても仲がいい友人を差す。心から理解し合える友人の事を心友ということもある。また信じあえる友人の事を信友ということもある。しかし、音が同じであるため現在は同様の使用がされている。また、悪友も同じような意味で使われることもある。

wikipedia参照

親友ってみんないるの？（笑）

心から相手のことを理解なんてできるのかなと思う。相手のことを全く理解できないけど、何故か一緒にいると心地よいみたいな方が本物っぽいけどな。

よく「あいつとは親友で」とか気軽にいうアホがいるけど、必ずしも相手はそう思ってないことが多い（笑）

そういうヤツがいると世の風潮的に「親友がないとヤバイ」とか自信なくす子が出てしたり、親友欲しくて騙されちゃったりしちゃう。そもそも自慢するものでもないのだから。

絶対的な「親友」がいるのならそれは幸せなアトだと思う。

でも、いなくてもおかしくないし、「親友なんていないけど、何か？」という世になればいい。

## 【この世に要らないもの17・・・「させていただく」】

---

謙謙を表す「させていただく」。へりくだった、丁寧な言い回し。  
最近、連発するヤツ多くないですか？笑

確かに「させていただけます○○です。」とか言うと、謙虚でいい感じ聞こえる。  
実際感謝をして言っているならいいことだと思う。でも、何でもかんでも「させていただく」って言ってるのを聞いてると、「どんだけ謙虚さアピールしてるんだ！」もしくは「どんだけ遠慮して生きてるんだ！」って思ってしまう。前者はともかく、後者の場合、常に何者かの許可を得て生きてるという言葉は、心への影響が懸念される。「謙遜は美德」と言うけれども、「謙遜が奴隷」になってしまってる人が多い気がする。言葉にしてももっと主体的に言うべきだ。

自分も無意識に使っちゃうこのいい回し、今後、気をつけるように使わせていただきます。笑

## 【この世に要らないもの18・・・「コンビニでもらう箸に付いてくる爪楊枝」】

---

超細かい。箸

これは、いらないでしょう。いる人はいるだろうけど、みんながみんなシーシーハーハーしないって！箸

その付加価値は、エコだエコだという時代に逆行しているしね。爪楊枝をなくすってことじゃなく、必要な人は別でもらえばいいじゃないかと思う。ただそれだけ。

調べたところ、ポロっと落ちてゴミにしたり、怪我する人もいるらしい。

コンビニ業界、外す勇気を持て！ ^^

## 【この世に要らないもの・・・19「研修」】

---

会社で提供される研修がどんなにいいものでも、本人にやる気がなければ、大抵は力にならない。「自腹」切ってるやつには勝てない。いっそ研修なんてやめて、完全成果主義にした方が企業は潤う気がする。

## 【この世に要らないもの20・・・「礼金」】

---

礼金ってくだらないくだらない、何で家を借りるのにお礼しなきゃならないんだ～o(´ω´)o

調べたところ・・・礼金とは、戦後の焼け野原で住むところがない人達が『大家さん貸してくれてありがとう』という、お礼の意味で包んだ事から始まり、東京を中心に広がったものらしい。今では、礼金の一部は大家さんが不動産屋に支払う紹介料に充てているからみたい。昔から慣習として定着しているので、自腹を切って不動産屋に紹介料を払うという習慣がないようだ。

敷金・礼金取らないところも増えてきたみたいだけど、日本も早くこんな馬鹿げた悪臭から脱却すべきだな(・ω・)ノ

## 【この世に要らないもの2 1・・・「ブックカバー」】

---

とは言うものの、実は最近まで、ブックカバー着ける派でした。理由は汚れるのが嫌な訳じゃない。本って自分の考えてること、趣味志向がモロバレな訳で、知人ならともかく、電車の他人に見られることさえ嫌だったし、恥ずかしかったから。

でも、日々情報発信していくことで、そんな抵抗は感じなくなったし、理屈じゃないんだけど隠す理由が分からなくなってきた。いいじゃないか何読んだって笑。

そんなことにビビっているのは、自分の意見なんて世にさらけ出せないだろうな。

逆に、読んだことある本、興味ある本を読んでもる人がいたら、話しかけちゃうかも笑。

## 【この世に要らないもの22・・・「お客様は神様」】

---

ずっとこの言葉には、疑問があった。確かにお客様を神格化してサービス向上を図るのは素晴らしい。でも、ほとんどが客に迎合する意味で使われていて、能動的に聞こえない。

なので、僕はホントに神様にならないといけないのは経営者側なんじゃないかと思う。

人は素晴らしい人を「神」と讃えるよね。あれと同じ。客にとってあり得ないサービス、商品を生んでこそ価値を感じさせ、神と呼ばせる。それでこそ真の経営魂じゃないかと思ったりした。

もちろん感謝するのは当然の前提で(・ω・)ノ

## 【この世に要らないもの23・・・「八方美人」】

---

僕は20代まで飛び切りの八方美人だった。断ることも極力しなかったし、関わる人皆にいい顔してた。

でも、段々そういう自分が苦しくなって、無駄に感じてきた。

今は100人と友達にいるよりも、99人を敵に回しても雪山で遭難しても助けに来てくれる1人を大事にしたいと思ってる。

そんな訳でだいぶ七方ブスになりつつあるε-(´∀`;) )

## 【この世に要らないもの24・・・「年賀状」】

---

ベタだけど筆。もういいだろコレ。

自分から出すことはなかったけど、毎年くれば返してた。

でも大抵届くのは、ソフトで作られたただの印刷物。個人向けにコメントがあればまだいい方。

あっても「今度飲もう」とか毎年繰り返してる^^；もう顔覚えてない人とかいたり…。結局、郵便局に仕掛けられていたんだね我々は。

メールでも同じ、「明けましておめでとう。今年もよろしく～」だけで、大量送信してくるヤツ

。あれもなんなん！？笑

本人は気持ちいいかもしれないけど、返す方は、「無視すると悪い」と気を遣って、頭使って、

返信する。なんか冷静に考えると変な世の中だよな。

まだ、半年以上も先だけど、来年から年賀状は出さないことにしよう。

【この世に要らないもの25・・・「首より下の毛」】

---

今さら無くなると、恥ずかしい？w

## 【この世に要らないもの26・・・「今日の占い」】

---

昔は大好きだったなTVの占い。今は全く見てないし、気にならない。  
TVが家にないってのもあるんだけど。笑

あれのせいで、貴重な朝の時間が取られたり、テンションが左右されたり、まさに仕掛けられた半生だったなーと。あれって救いのあるビリより11位の方がキツくない？笑

そんなことよりも、今日一日のスケジュールを見てワクワクできれば、毎日が占い1位よりも効果あると思う。

ちなみに僕は水瓶座のA型。  
昔の彼女が「水A男子は変わり者！」って言ってたのを思い出した。  
大きなお世話じゃ！^^：

## 【この世に要らないもの27・・・「鵜呑み」】

---

東京大学大学院経済学研究科教授、柳川範之の言葉。

新しいものを生み出している人達に共通した特徴のひとつは、人の意見を鵜呑みにしないことだ。どんなに立派な理論でも、エライ人が言った言葉でも、自分の頭で判断する。たとえそれが専門外のことで完全には分らなくても、納得がいくまで自分の頭で考える。大事な姿勢だと思う。

アアでのポイントは「納得」だろう。

納得してなければ、人は100%のチカラを発揮できないからね。

## 【この世に要らないもの28・・・「甚だ遺憾です」】

---

【遺憾】（いかん）

思い通りにいかず心残りなあと、残念、気の毒。

「遺憾の意を表する」「遺憾に思う」「遺憾千万せんばん」

《広辞苑・第五版》

◇「憾」の意味は？

遺憾が「憾をのこす」という意味なら、「憾」の意味はと更に調べると、

- ・ 残念な気持ち。
- ・ 心に強くショックを受けるあと、ショックとして心に残ること。
- ・ 他を怨むというよりも、自ら安んじない心情をいう。

などの説明があります。

経堂者や政治家の堂套句。いつも違和感を感じてた。

要は「超残念orz」竿という意味だけど、本気で思ってたら、そんな仰々しい言葉も使わずに感情やもっとシンプルな言葉で表現されるだろってこと。本気で遺族や被害者のことを思っていたら泣き崩れたり、怒ったりするのが人間じゃないか。なのに、淡々と「甚だ遺憾です」で片付けられてしまう。まあ正直に「そうっすか」とは言えとは言わないけど笑、お前らロボットかって感じ。

結局、みんな情熱がないんだ。

## 【この世に要らないもの29・・・「働かない上司」】

---

2種類いますね。能力がなくて働く気がないのと、能力があってもサボろうするの。彼らが頑張ってる若手の給与の2倍以上という現実。恐らく、若者がベテラン社員になるころは年功序列も無くなってるとな。

耐えられませんね。この現実^^ ;  
じゃあどうするか・・・？

## 【この世に要らないもの30・・・「学歴」】

---

名刺代わりにはいいと思うけど、これで判断するのはダメ。  
学歴があっても仕事できないヤツはできないし、嫌なヤツもいる。逆もある。

結局、何かを一括りにはできないってことなんだな。

## 【この世に要らないもの3 1・・・「レシート」】

---

もちろんいる人はいると思う。それはそれとして、僕の私生活にはあまり必要ない。スマホも普及してきたこれからの時代、レシートも電子化するべきでないかと思う。その方がエコだし、消費者側も管理しやすくいいでしょ。

どうしても紙でって人にはあげるなり、有料であるなりすれば効率的かもね。

## 【この世に要らないもの32・・・「役所とか独立行政法人が作るパンフレット」】

---

誰も読まないようなパンフレットが多すぎる。

まるで誰かの仕事を作るために作られたようなものだなんて思う。

## 【この世に要らないもの33・・・「ムダな会議」】

---

クソ忙しい中、定期的に膨大な資料を並べて、特定のものしただけがしゃべって、ただただ時間が過ぎる。大した結論もでないまま。ヤメちまえこんなの。

事前に議題をメールで配布して、ドリンクでも飲みながら、適度にリラックスしてやるぐらいがいい。長くなるなら立ってやれ！

## 【この世に要らないもの34・・・「ご近所付き合い」】

---

たまたま近所に住んだぐらいで何で仲良くしなきゃならんのだ！昔はもちろん必要だったと思うよ。でも、今は時代が違う。共生、コミュニティーなんてクソくらえ！

## 【この世に要らないもの35・・・「親戚付き合い」】

---

たまたま血が近いぐらいで（中には関係ないやつもいる）何で仲良くしなきゃならんのだ！笑  
正月とかみんなイヤイヤ過ごすぐらいなら行かなきゃいい。相続なんて頼るな！稼げ～笑

## 【この世に要らないもの3600「ご祝儀」】

---

人を祝うのに相場参萬円とか金が掛かるのが意味不明。笑  
ご祝儀が嫌でいやいや行く人もいるし。貳萬円だと文句言われるし。笑

貧乏人は祝えないんですかね？  
ブライダル業界にこれも仕掛けられてないか？

せっかくめでたいことなんだから、もってオープンだといいいのに。

## 【この世に要らないもの37・・・「大学のサークル」】

---

これもヤバイ。みんな孤独に耐えられなくて入ってしまう。  
僕もテニサーでした。幹部を決めるとか行って、夜明けまで公園で話し合いに付合わされたの  
とか、今思えば地獄だな。まあすぐ辞めたけど。笑

会社に似ていて、宗教っぽいところがある。  
群れから外されないようにみんなで迎合して、寂しさを埋めてる。

居心地が悪ければやめちゃおう。

## 【この世に要らないもの38・・・「大学」】

---

大学がゆるいのは、学生をぐにゃぐにゃにして、会社に入っても何もできない状態にして、自信を喪失させて、会社の奴隷にするって聞いたことある。本当か？

どちらにせよ、就職活動で「学生時代に頑張ったもの」でもっとも多いのが「アルバイト」「サークル」っていうのは、どうなのかね。笑

4年間だらだら過ごすより、好きなこと4年やった方が価値あるだろうな一。

## 【この世に要らないもの39・・・「メーデー」】

---

新入社員のころ参加したことあるが、代々木公園に集まって仮装してデモ行進しても、意味がないんじゃないかと思う。もっと本質的にやらなきゃ。

## 【この世に要らないもの40・・・「みんなが幸せな世界」】

---

そんなのない。幸せの定義がそれぞれ違うから。

もし、あなたの収入が半分になったら、世界が安定します。  
と言われても、あまり望む人もいないだろう。

## 【この世に要らないもの4 1・・・「親知らず」】

---

語源 (wikipedia)

赤ん坊の歯の生え始めと違い、多くの場合親元を離れてから生え始めるため、親が歯の生え始めを知ることはない。そのため親知らずという名が付いた。また、乳歯が永久歯の「親」と考えると、親知らずには、対応する乳歯が存在しないので、「対応する乳歯が無い＝親知らず」として命名された、という説もある。

抜歯が何よりも大変。

変な生え方すると、手術とか必要にもなってくるし、不要。笑

歯医者によって、金額が変わるから注意してください。

## 【この世に要らないもの42・・・「つまらないプライド」】

---

つまらないプライドなんて捨てて迎合するって意味じゃない。  
つまらないプライドなんて捨てて好きなことをすればいい。

## 【この世に要らないもの43・・・「香典」】

---

香や花を便宜的にしたもののけど、これもお祝儀と同じ。  
貧乏人が用っちゃいけないみたい。  
香典返しもしなきゃならないし、なくていい。

## 【この世に要らないもの44・・・「戒名」】

---

死後の名前に何十万、何百万も払うというのは、すごいことだな。

本人の希望なのか、遺族の見栄なのか、分からないけれど、冷静に考えると仕掛けられてるはず

。

## 【この世に要らないもの45・・・「モザイク」】

---

すいません、ふざけました。

ちなみに日本のAVにモザイクがかかるのは儒教の影響と聞いたことがあるけど、ホントかな？

## 【この世に要らないもの46・・・「神」】

---

人は、自信がないから神にすがる。  
でも、ほとんどの神は商業的だ。  
社会が自信を失くさせ、宗教が儲かるシステムは少なからずあると思う。

神なんていないことは証明されていたりもするわけで、すがる「神」なんて最初からいないと思っていた方が、人は頑張れるんじゃないかと思った。

## 【この世に要らないもの「最終回」・・「この世に要らないものを考えること笑】

---

約1ヶ月「この世に要らないもの」を考えてきたけど、思いの外「この世に要らないもの」は少ない。笑

それは、本当に要らないのか考え調べるしているうちに「本当に要らないものなのか？」と検証しているうちに極論、病気や犯罪すらも意味があるんじゃないかと思えたから。

要らないものばかりだと思っていたこの世ですが、僕はたった46個しか挙げられませんでした。しかも無理矢理（笑）。これは僕が経験不足な面もあるだろうし、気付けないところがあったのかもしれない。

ですが、この投稿をしてきたことで「この世に要らないものはそんなにない」ということが分かったので、これからは「この世に要るもの」を考えていきたいと思いました。

最後までお読み頂きありがとうございました ^^